

# レジャー活動における「するスポーツ」の 楽しみ方に関する研究（第1報）

— スポーツ用具・遊具の活用について —

横内 靖典・西田 俊夫\*

## 研究目的

運動・スポーツ・レクリエーションをすることによって人々は、健康・体力の維持増進のみならず、「楽しみ」、「自己実現」、「生きがい」、「創造」、「自由」、「連帯」などといった喜びや幸せ感を得ることができるといわれる。これらの喜びや幸せ感は、運動・スポーツ・レクリエーションをすれば必ず保証されるべきものでもない。常に運動・スポーツ・レクリエーションを大切にしている多くの人たちの、努力の継続によって実現されるものである。その処方箋さえ間違わなければ運動・スポーツ・レクリエーションは自由時間におけるすぐれた活動であるといえる。すなわち、レジャー・レクリエーション活動として自由時間を積極的かつ有効に活用していく重要な内容として運動・スポーツを位置づけたい。

レジャー・レクリエーション活動の中で運動・スポーツを実践するには、施設、用具・遊具、プログラム、仲間などが必要条件となってくるが、施設、プログラム、仲間に関してはこれまでに多くの研究がなされている<sup>1)-5)</sup>。特に、スポーツ用具・遊具との関わり方は、幼児期から運動遊びとして親しまれてきたものであり、その出会いから現在までの活用頻度の動向に着目してみた。

このような視点を踏まえて、本研究は、最近の若者がレジャー・レクリエーション活動をする中で「どのような活動をしているのか」、その活動には「どのようなスポーツ用具・遊具を活用しているのか、また活用してきたか、さらにこれからも活用したいのか」その実態を把握することからこの研究調査のスタートとする。

研究にあたり、「するスポーツ」活動に関するこれまでの研究調査をみると、「体力や運動能力に関する調査（文部科学省）」があるものの体力・運動能力に関する内容のものが中心であり、運動・スポーツの実施状況の中で、スポーツ用具・遊具については、ほとんど取り上げられていない。さらに、スポーツ用具・遊具の活用頻度に関する一連の調査報告を検索してみたが、スポーツ用具の科学研究報告<sup>17)-19)</sup>はみられたが、本研究の意図する方向での資料を抽出することができなかったこともあり、先行研究として捉えている。

\* 淑徳大学国際コミュニケーション学部

そこで今回の研究では、大学生の男女を対象にしてこれまでのレジャー・レクリエーション活動におけるスポーツ用具・遊具の活用頻度と現在の活用状況を把握することが急務であると判断し、アンケート調査を実施する。スポーツ用具・遊具の活用頻度は、「小学校以前期」「小学校期」「中学校期」「高校期」「大学期」の5段階に分けて分析をする。その分析結果をもとに、「するスポーツ」を楽しむ場合、スポーツ用具・遊具の存在をどう捉えてどのように活用すべきかの手掛かりを得ることによって、レジャー・レクリエーション活動の健康的で充実した過ごし方の指針を探ることがねらいである。

## 研究対象

関東地区にある A 大学, B 大学, C 大学の学生, 男性 331 名, 女性 150 名計 481 名である。

## 研究方法

1. 調査手段 選択回答式（一部筆記）のアンケート調査
2. 調査期間 2001年5月7日～2001年5月31日の間
3. 実施方法 講義時にアンケート調査用紙を配布し、主旨を説明し、回答を求め、データ入力・集計処理は、城西大学情報処理センターの大型コンピューター富士通 M-1700 で、分析リストは ANALST を使用
4. 調査内容 下記の7項目について質問した
  - (1) 現在所有しているスポーツ用具・遊具の現数について
  - (2) スポーツ用具・遊具を活用した時期について
  - (3) 過去に所有したスポーツ用具・遊具の紛失・破損・譲渡について
  - (4) スポーツ用具・遊具の活用状況について
  - (5) スポーツ用具・遊具の購入について
  - (6) 仲間と楽しめるスポーツ用具・遊具について
  - (7)大切にしているスポーツ用具・遊具について

## 結果と考察

### (1) 現在所有しているスポーツ用具・遊具について (表 1-①)

#### ① 現数からのスポーツ用具・遊具の所有個数の平均値 (表 1-①)

所有個数の平均値は、全体では 5.0 個である。性別で見ると、男性が 4.6 個であり、女性が 6.0

表1 調査項目データ一覧表

調査項目	大項目	中項目	小項目	細目	全体	男	女	有意・検定	
	標本数					481	331		150
①	所有数				度数	2419	1522	897	***
					%	100	62.919	37.081	
					平均値	5.0291	4.5982	5.98	
②	時期別用具・遊具の種類数	全体		度数	62	59	49		
				%	100	95.19	79.03		
		小学校以前		度数	38	32	30		
				%	61.29	51.61	48.39		
		小学校		度数	47	41	31		
				%	75.81	66.13	50		
		中学校		度数	42	39	26		
				%	67.74	62.9	41.94		
		高校		度数	53	47	29		
				%	85.48	75.81	46.77		
		大学		度数	31	30	9		
				%	50	48.39	14.52		
③	用具・遊具の行方	現在所有		度数	1719	1072	647		
				%	71.062	70.434	72.129		
		無くした		度数	308	206	102		
				%	12.733	13.535	11.371		
		破損		度数	273	161	112		
				%	11.286	10.578	12.486		
		譲渡		度数	119	83	36		
				%	4.9194	5.4534	4.0134		
④	用具・遊具の活用状況	頻繁に活用		度数	424	299	125	***	
				%	17.528	19.645	13.935		
		時々活用		度数	701	471	230	***	
				%	28.979	30.946	25.641		
		活用せず		度数	1335	784	551		
				%	55.188	51.511	61.427		
⑤	用具・遊具の購入	購入方法	最近購入	度数	206	164	42	**	
				%	8.5159	10.775	4.6823		
			自分の資金	度数	496	432	64	***	
				%	20.504	28.384	7.1349		
		購入希望	常識の範囲	度数	421	315	106	***	
				%	17.404	20.696	11.817		
			充分な資金	度数	459	321	138	***	
				%	18.975	21.091	15.385		
⑥	仲間と楽しめる用具・遊具	回答数		度数	752	504	248		
				%	31.087	33.114	27.648		
		標本平均値		1.6	1.5	1.7			
		用具の種類数/62	度数	58	56	29			
			%	93.55	90.32	46.77			
⑦	大切にしている用具・遊具	回答数		度数	387	293	94		
				%	15.998	19.251	10.479		
		標本平均値		0.8	0.9	0.6			
		用具の種類数/62	度数	39	35	18			
			%	62.9	56.45	29.03			

\*\*\* 0.01 \*\* 0.05

\* 0.1

表2 スポーツ用具・遊具の活用時期別頻度% (上位10)

性	順	①		②		③		④		⑤		⑥	
		用具・遊具	%	用具・遊具	%	用具・遊具	%	用具・遊具	%	用具・遊具	%	用具・遊具	%
		小学校以前期		小学校期		中学校期		高校期		大学期		全体	
全	1	縄跳び	2.11	バドミントン	3.97	バスケットボール	2.07	鉄アレー	1.57	サッカー	1.16	サッカー	7.56
	2	浮き袋	1.65	縄跳び	3.80	ソフトテニス	1.94	硬式テニス	1.53	硬式テニス	0.58	縄跳び	7.15
	3	サッカー	1.28	軟式野球	2.81	鉄アレー	1.45	硬式野球	1.20	縄跳び	0.33	バドミントン	6.74
	4	ローラースケート	1.03	サッカー	2.73	卓球	1.41	スキースノーボード	1.12	ダンベル	0.29	バスケットボール	5.37
	5	バドミントン	0.99	一輪車	2.36	硬式テニス	1.36	サッカー	1.07	バスケットボール	0.21	軟式野球	5.08
	6	軟式野球	0.74	卓球	2.15	サッカー	1.32	ハンドグリップ	0.91	キックボード	0.21	硬式テニス	4.71
	7	硬式野球	0.62	ローラースケート	1.98	軟式野球	1.28	バスケットボール	0.87	バーンゴルフ	0.21	卓球	4.46
	8	スキースノーボード	0.58	バスケットボール	1.94	バドミントン	1.12	万歩計	0.87	スケートボード	0.17	スキースノーボード	4.09
	9	卓球	0.41	ソフトボール	1.74	バレーボール	1.12	ダンベル	0.83	サーフィンボード	0.17	硬式野球	3.88
	10	水上	0.41	硬式野球	1.57	スキースノーボード	0.99	バドミントン	0.58	スキースノーボード	0.12	鉄アレー	3.55
		小学校以前期		小学校期		中学校期		高校期		大学期		全体	
性	順	用具・遊具	%	用具・遊具	%	用具・遊具	%	用具・遊具	%	用具・遊具	%	用具・遊具	%
男	1	サッカー	1.64	軟式野球	4.20	バスケットボール	2.89	鉄アレー	1.97	サッカー	1.58	サッカー	10.98
	2	縄跳び	1.38	サッカー	4.07	サッカー	2.10	硬式野球	1.91	硬式テニス	0.53	軟式野球	7.82
	3	軟式野球	1.18	縄跳び	3.42	軟式野球	1.97	サッカー	1.58	バスケットボール	0.33	バスケットボール	6.31
	4	バドミントン	0.79	卓球	2.23	鉄アレー	1.91	バスケットボール	1.38	縄跳び	0.26	縄跳び	5.98
	5	浮き袋	0.79	バドミントン	2.10	ソフトテニス	1.51	スキースノーボード	1.25	スケートボード	0.26	硬式野球	5.00
	6	硬式野球	0.59	ソフトボール	1.84	卓球	1.45	硬式テニス	1.12	サーフィンボード	0.26	卓球	4.87
	7	スキースノーボード	0.53	硬式野球	1.71	釣り	1.25	ダンベル	1.05	ダンベル	0.20	鉄アレー	4.73
	8	釣り	0.46	バスケットボール	1.51	剣道	0.92	ハンドグリップ	1.05	キックボード	0.20	バドミントン	4.67
	9	ソフトボール	0.46	釣り	1.38	バドミントン	0.85	柔道	1.05	バーンゴルフ	0.20	スキースノーボード	3.94
	10	卓球	0.39	硬式テニス	1.25	硬式テニス	0.85	バドミントン	0.66	バドミントン	0.13	硬式テニス	3.94
		水上	0.39			柔道	0.85			スキースノーボード	0.13		
										鉄アレー	0.13		
										ゴルフ	0.13		
										バーベル	0.13		
										準硬式野球	0.13		
		小学校以前期		小学校期		中学校期		高校期		大学期		全体	
性	順	用具・遊具	%	用具・遊具	%	用具・遊具	%	用具・遊具	%	用具・遊具	%	用具・遊具	%
女	1	縄跳び	3.34	バドミントン	7.13	ソフトテニス	2.68	硬式テニス	2.23	硬式テニス	0.67	バドミントン	10.23
	2	浮き袋	3.12	一輪車	4.91	硬式テニス	2.23	万歩計	1.78	ダンベル	0.45	縄跳び	9.12
	3	ローラースケート	2.23	縄跳び	4.46	バレーボール	2.01	ダンス	1.11	サッカー	0.45	ローラースケート	6.01
	4	バドミントン	1.34	ローラースケート	3.79	バドミントン	1.56	ゴルフ	0.89	縄跳び	0.45	硬式テニス	6.01
	5	一輪車	0.89	バスケットボール	2.68	ダンベル	1.56	スキースノーボード	0.89	ダイビング	0.22	一輪車	5.78
	6	サッカー	0.67	卓球	2.01	スキースノーボード	1.34	鉄アレー	0.89	スキースノーボード	0.22	スキースノーボード	4.45
	7	スキースノーボード	0.67	スケートボード	1.56	卓球	1.34	ハンドグリップ	0.67	バレーボール	0.22	浮き袋	4.00
	8	硬式野球	0.67	万歩計	1.56	万歩計	0.89	ダンベル	0.45	キックボード	0.22	バスケットボール	3.78
	9	ゴルフ	0.67	ソフトボール	1.56	バスケットボール	0.67	縄跳び	0.45	バーンゴルフ	0.22	卓球	3.78
	10	キャンプ	0.67	スキースノーボード	1.34	鉄アレー	0.67	キックボード	0.45			バレーボール	3.11
				釣り	1.34	釣り	0.67	水上(他)	0.45				
				釣り	1.34	ソフトボール	0.67	トレーニング(他)	0.45				
						ゴルフ	0.67						
						剣道	0.67						

個と女性の方が多くなっている。

## ② スポーツ用具・遊具の種類（表1-②）

スポーツ用具・遊具の種類は、全体では62種類となり、性別でみると、男性が59種類、女性が49種類となっており、男性の方が多種類活用している。

## ③ 多く使われたスポーツ用具・遊具（表2）

スポーツ用具・遊具のなかで、全体順位の上位10をみると、（表2-⑥）「サッカー」、「縄跳び」、「バドミントン」、「バスケットボール」、「軟式野球」、「硬式テニス」、「卓球」、「スキー・スノーボード」、「硬式野球」、「鉄アレー」となっている。性別でみると、男性では「サッカー」、「軟式野球」、「バスケットボール」、「縄跳び」、「硬式野球」、「卓球」、「鉄アレー」、「バドミントン」、「スキー・スノーボード」、「硬式テニス」の順となり、女性は、「バドミントン」、「縄跳び」、「硬式テニス」、「ローラースケート」、「一輪車」、「万歩計」、「スキー・スノーボード」、「浮き袋」、「卓球」、「バスケットボール」の順となっている。

この項目を全体で考察すると、所有数では女性の方が一人当たり平均値では男性よりも多く用具・遊具を所有している。それは男女差の検定結果でも有意な差が認められた。次に用具・遊具の種類についてみると、男性が女性よりも少ない所有数にもかかわらず多くの種類が見られる。

このことは、多くの用具・遊具に拡散していることを示しており、しかもチームゲームの用具・遊具として男性が活用しているのに対し、女性は、個人もしくは個人的ゲームとして楽しむ傾向にあると推察される。

現在所有しているスポーツ用具・遊具については、男女差の検定結果をみると（表1-①）、有意な差がみられる。

## (2) スポーツ用具・遊具を活用した時期について（表1-②）

よく活用した時期を「小学校以前期」「小学校期」「中学校期」「高校期」「大学期」の5段階に分けて分析してみると、男性で最も多い時期は、「高校期」の53種類に対して、女性の方は「小学校期」の31種類と異なった傾向を示している。次に、どのスポーツ用具・遊具が多く活用されていたかを、それぞれの時期から分析してみると、以下のとおりである。（表2）

### ① 「小学校以前期」のスポーツ用具・遊具

この時期の用具・遊具の上位5をみると、（表2-①）男性では「サッカー」、「縄跳び」、「軟式野球」、「バドミントン」、「浮き袋」の順で、女性は「縄跳び」、「浮き袋」、「ローラースケート」、「バドミントン」、「一輪車」の順となっている。

この時期の傾向は、男女共通の用具・遊具として、「縄跳び」、「バドミントン」が挙げられる。性別でみると、男性では「サッカー」が最も多いが「軟式野球」を含めるとボール遊びとして活用されていることがわかる。他方、女性は、一人遊びとしての「縄跳び」、「浮き袋」などの用具・

遊具を選んでいる傾向が強く現れている。

#### ② 「小学校期」のスポーツ用具・遊具

この時期の上位5をみると、(表2-②) 男性では「軟式野球」、「サッカー」、「縄跳び」、「卓球」、「バドミントン」の順で、女性は「バドミントン」、「一輪車」、「縄跳び」、「ローラースケート」、「バスケットボール」の順となっている。

この時期の傾向は、性別でみると、男性では「サッカー」から「軟式野球」がトップとなる。さらに新しい用具・遊具を活用するようになり、選択幅がやや広がっているのに対して、女性は、「小学校以前期」とほぼ同様の傾向を示している。

#### ③ 「中学校期」のスポーツ用具・遊具

この時期の上位5をみると、(表2-③) 男性では「バスケットボール」、「サッカー」、「軟式野球」、「鉄アレー」、「ソフトテニス」の順で、女性は「ソフトテニス」、「硬式テニス」、「バレーボール」、「バドミントン」、「ダンベル」の順となっている。

この時期の傾向は、男女ともに用具・遊具の活用に変化が生じている。その理由として、小学生から中学生になり、自ら選択するようになる。しかも体育系のクラブ・サークル活動への参加と関連性が深いと考えられる。

#### ④ 「高校期」のスポーツ用具・遊具

この時期の上位5をみると、(表2-④) 男性では「鉄アレー」、「硬式野球」、「サッカー」、「バスケットボール」、「スキー・スノーボード」の順で、女性は、「硬式テニス」、「万歩計」、「ダンス」、「ゴルフ」、「スキー・スノーボード」の順となっている。

この時期の傾向は、「軟式野球」から「硬式野球」への移行期となっている。さらに、体力づくりの目的としてスポーツ用具・遊具が、男女とも多く活用されている傾向が高い。健康・体力づくりに積極的に取り組む姿勢をもっていることに注目すべきであろう。

#### ⑤ 「大学期」のスポーツ用具・遊具

この時期の上位5をみると、(表2-⑤) 男性では「サッカー」、「硬式テニス」、「バスケットボール」、「縄跳び」、「スケートボード」の順で、女性は「硬式テニス」、「ダンベル」、「サッカー」、「縄跳び」、「ダイビング」の順となっている。

この時期の傾向は、用具・遊具の選択幅がさらに広がり、ニュースポーツ用具・遊具やアウトドアスポーツ用具・遊具への関心が強く現われているといえよう。

それぞれの時期を小学校以前期から大学期まで縦断的に捉えてみると、(図1-1・2) 時期によって、スポーツ用具・遊具の種類に変化が認められる。これについては、以下のような現象が挙げられる。用具・遊具としての「ローラースケート」や「一輪車」は、小学校期までが全体の上位を占めているが、野球系の用具・遊具では小学校期、中学校期で「軟式野球」の比率が高いのに対して、高校期になると「硬式野球」の比率が急増していることである。

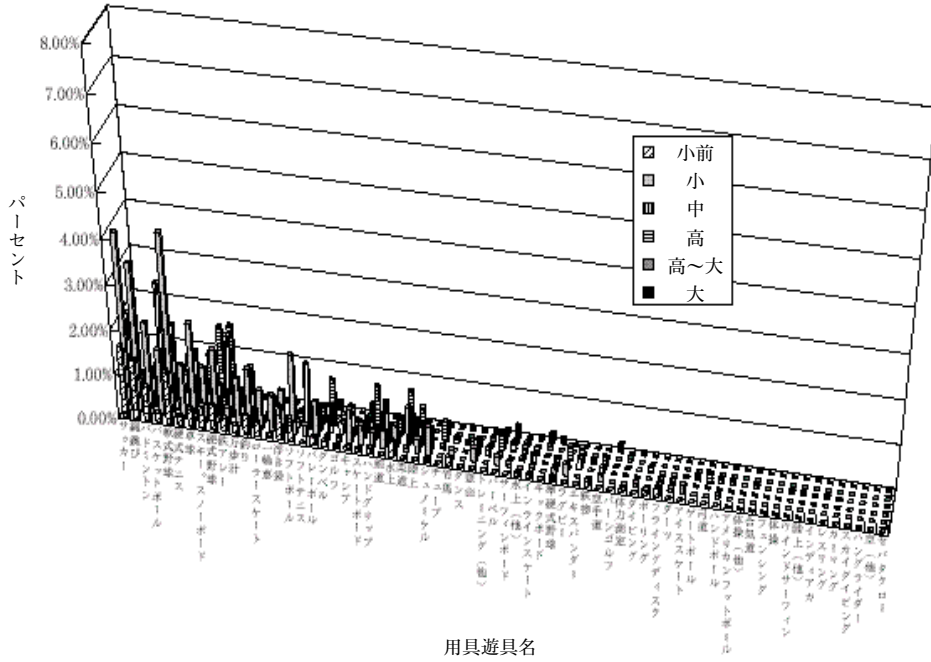


図 1-1 男・活用時期

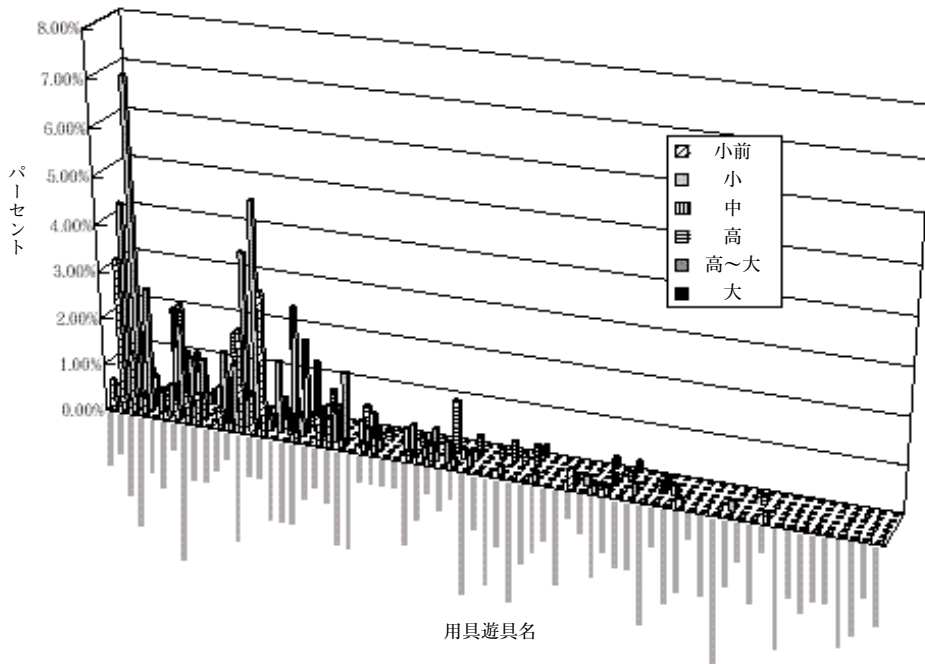


図 1-2 女・活用時期

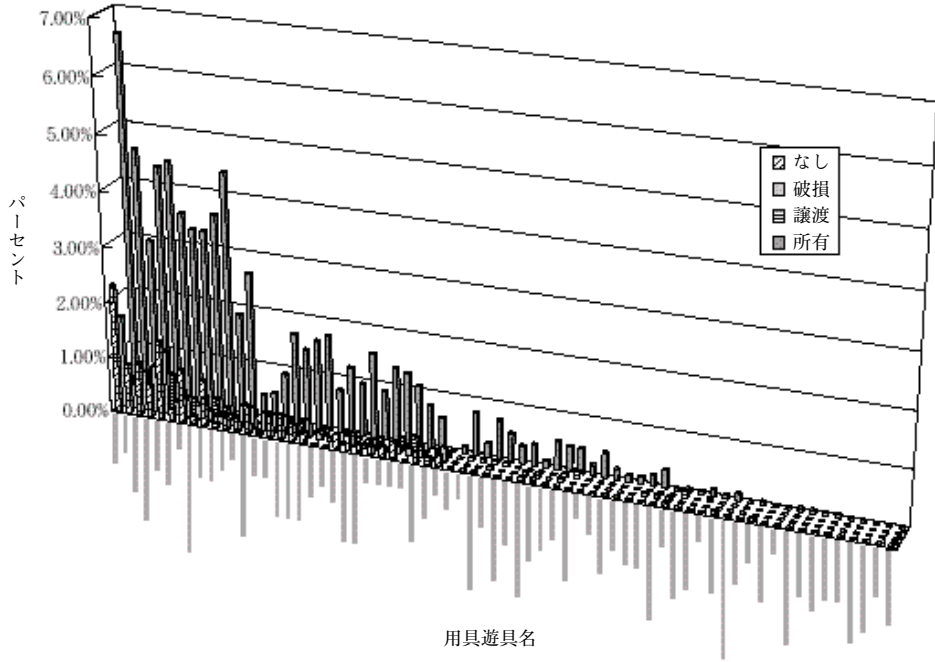


図 2-1 男・用具遊具行方

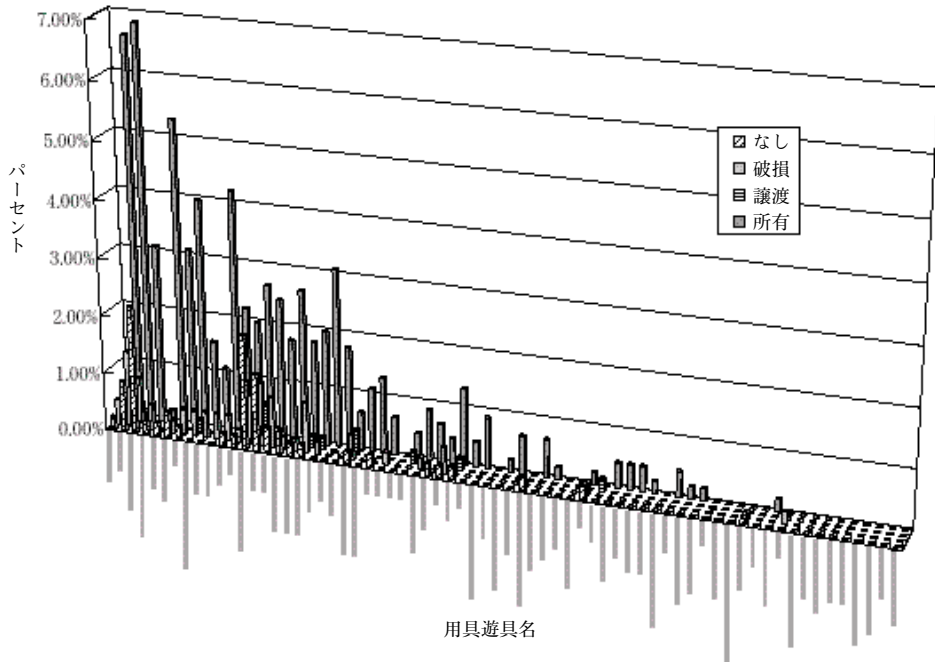


図 2-2 女・用具遊具行方



さらに、小学校、中学校、高校と時期が進むことにより、活用されるスポーツ用具・遊具に質的变化が起きていることがわかる。このほかトレーニング系、健康志向系と思われる用具・遊具の比率が高く、しかもアウトドアスポーツに関する用具・遊具も活用頻度が高くなっている。

スポーツ用具・遊具を活用した時期については、男女差の検定を行なったが、ここでは有意な差は認められなかった。

### (3) 過去に所有していたスポーツ用具・遊具の紛失・破損・譲渡について（表 1-③，図 1-1・2）

過去に所有していたスポーツ用具・遊具が現在どのように活用されているかを紛失・破損・譲渡の3項目の調査結果からみると、以下のとおりである。

- ① 紛失の用具・遊具を全体的にみると、（表 3-①）上位を占めるものとして「サッカー」、「バドミントン」、「ローラースケート」が挙げられる。性別でみると、男性では「サッカー」、「軟式野球」、「バドミントン」が、女性は「バドミントン」、「ローラースケート」、「一輪車」が多くを占めている。
- ② 破損した用具・遊具を全体的にみると、（表 3-②）上位を占めるものとして「サッカー」、「縄跳び」、「バドミントン」が挙げられる。性別でみると、男性では「サッカー」、「軟式野球」、「バスケットボール」が、女性は「縄跳び」、「ローラースケート」、「一輪車」が多くを占めている。
- ③ 譲渡した用具・遊具を全体的にみると、（表 3-③）上位を占めるものとして「軟式野球」、「ローラースケート」、「一輪車」が挙げられる。性別でみると、男性では「軟式野球」、「サッカー」、「バスケットボール」が、女性は「ローラースケート」、「一輪車」、「スケートボード」が多くを占めている。

スポーツ用具・遊具の紛失・破損・譲渡については、男女差の検定を行ったが、ここでは有意差は、認められなかった。

### (4) スポーツ用具・遊具の活用状況について（表 1-④）

現在どの程度のスポーツ用具・遊具を活用しているのか、それとも活用していないのかを調査結果でみると、以下のとおりである。

- ① 頻繁に活用しているものとしては、上位3をみると、（表 4-①）全体では「サッカー」、「硬式テニス」、「バスケットボール」の順で、男性では「サッカー」、「バスケットボール」、「軟式野球」の順、女性は「硬式テニス」、「縄跳び」、「バドミントン」、「ダンベル」の順となっている。
- ② 活用されていないものとしては、上位3をみると、（表 4-②）全体では「縄跳び」、「バドミントン」、「軟式野球」の順で、男性では「サッカー」、「軟式野球」、「縄跳び」の順、女性

表3 スポーツ用具・遊具の紛失・破損・譲渡別頻度（上位10）

項目	順位	全 体		男		女	
		用 具	頻度	用 具	頻度	用 具	頻度
① 紛失	1	サッカー	38	サッカー	36	バドミントン	20
	2	バドミントン	35	軟式野球	22	ローラースケート	18
	3	ローラースケート	26	バドミントン	15	一輪車	12
	4	軟式野球	24	卓球	15	縄跳び	8
	5	縄跳び	22	縄跳び	14	硬式テニス	4
	6	卓球	17	硬式野球	13	浮き袋	4
	7	硬式野球	13	バスケットボール	9	ソフトボール	4
	8	一輪車	13	ローラースケート	8		
	9	バスケットボール	11	浮き袋	7		
	10	浮き袋	11	ソフトボール	7		
		ソフトボール	11				
② 破損	1	サッカー	30	サッカー	26	縄跳び	12
	2	縄跳び	19	軟式野球	18	ローラースケート	10
	3	バドミントン	19	バスケットボール	13	一輪車	10
	4	軟式野球	18	バドミントン	11	バドミントン	8
	5	バスケットボール	17	縄跳び	7	浮き袋	8
	6	ローラースケート	16	卓球	6	バレーボール	8
	7	一輪車	15	釣り	6	サッカー	4
	8	浮き袋	13	ローラースケート	6	バスケットボール	4
	9	バレーボール	13	一輪車	5	卓球	4
	10	卓球	10	浮き袋	5	スキースノーボード	4
		ソフトボール	7	ソフトボール	5	硬式野球	4
				バレーボール	5	鉄アレー	4
						万歩計	4
						スケートボード	4
						竹馬	4
③ 譲渡	1	軟式野球	10	軟式野球	10	ローラースケート	8
	2	ローラースケート	8	サッカー	7	一輪車	6
	3	一輪車	8	バスケットボール	7	スケートボード	4
	4	サッカー	7	スキースノーボード	5		
	5	バスケットボール	7	硬式野球	5		
	6	スキースノーボード	7	卓球	4		
	7	陸上	6	陸上	4		
	8	硬式野球	5	鉄アレー	3		
	9	スケートボード	5	釣り	3		
	10	卓球	4	ソフトボール	3		
		浮き袋	4	ソフトテニス	3		
		ダンベル	4	柔道	3		

は「縄跳び」、「一輪車」、「バドミントン」の順となっている。

そこで、現在活用されているスポーツ用具・遊具は、SSF 笹川スポーツ財団の調査とほぼ同傾向を示している<sup>9)</sup>。他方、活用されていない用具・遊具をこれからどう活用していくかの再活用化が今後の課題として考えられる。

スポーツ用具・遊具の活用状況については、男女差の検定結果をみると、(表1-④)頻繁に活用しているの項目には、有意な差が認められる。

表4 スポーツ用具・遊具の活用状況別頻度（上位10）

項目	順位	全 体		男		女	
		用 具	頻度	用 具	頻度	用 具	頻度
① 頻繁・活用	1	サッカー	82	サッカー	78	硬式テニス	16
	2	硬式テニス	33	バスケットボール	27	縄 跳 び	12
	3	バスケットボール	31	軟式野球	26	バドミントン	10
	4	軟式野球	26	鉄アレー	23	ダンベル	10
	5	縄 跳 び	25	硬式野球	22	卓 球	6
	6	鉄アレー	25	硬式テニス	17	スキースノーボード	6
	7	ダンベル	24	ダンベル	14	万 歩 計	6
	8	バドミントン	22	縄 跳 び	13	サッカー	4
	9	硬式野球	22	バドミントン	12	バスケットボール	4
	10	スキースノーボード	18	スキースノーボード	12	ソフトテニス	4
					バレーボール	4	
					チューブ	4	
					トレーニング他	4	
② 活用せず	1	縄 跳 び	97	サッカー	64	縄 跳 び	44
	2	バドミントン	80	軟式野球	75	一 輪 車	38
	3	軟式野球	77	縄 跳 び	53	バドミントン	34
	4	サッカー	72	卓 球	51	ローラースケート	32
	5	卓 球	71	バドミントン	46	硬式テニス	28
	6	バスケットボール	66	バスケットボール	46	万 歩 計	28
	7	硬式テニス	63	硬式野球	44	バスケットボール	20
	8	硬式野球	60	硬式テニス	35	卓 球	20
	9	一 輪 車	55	釣 り	27	浮 き 袋	16
	10	万 歩 計	53	ソフトボール	26	ソフトテニス	16
					ソフトテニス	16	
					ゴルフ	16	

## (5) スポーツ用具・遊具の購入について（表1-⑤）

スポーツ用具・遊具の購入項目として「最近購入のもの」、「自分で購入」の2項目と購入希望として「常識範囲の資金」、「十分な資金がある場合」の2項目の調査結果をみると、以下のとおりになる。

- ① スポーツ用具・遊具の中で最近購入したものを全体的にみると、（表5-①）「サッカー」、「硬式テニス」、「スキー・スノーボード」が多く挙げられている。性別でみると、男性では「サッカー」、「硬式テニス」、「バスケットボール」を多く挙げており、女性は「硬式テニス」、「卓球」、「スキー・スノーボード」を多く挙げている。
- ② 自分の資金で購入したスポーツ用具・遊具を全体的にみると、（表5-②）「サッカー」、「バスケットボール」、「硬式テニス」を多く挙げている。性別でみると、男性では「サッカー」、「軟式野球」、「硬式野球」であり、女性は「縄跳び」、「ソフトテニス」、「硬式テニス」が多くを占めている。
- ③ 常識の範囲の資金での購入希望しているスポーツ用具・遊具を全体的にみると、（表5-③）「スキー・スノーボード」、「サッカー」、「サーフィンボード」を多く挙げている。性別でみ

表5 スポーツ用具・遊具の購入及び購入希望別頻度（上位10）

	購入	順位	用具	頻度	用具	頻度	用具	頻度
①	最近購入	1	サッカー	62	サッカー	60	硬式テニス	8
		2	硬式テニス	22	硬式テニス	14	卓球	4
		3	スキースノーボード	14	バスケットボール	11	スキースノーボード	4
		4	バスケットボール	13	スキースノーボード	10	浮き袋	4
		5	陸上	7	軟式野球	7	キックボード	4
		6	軟式野球	7	硬式野球	6		
		7	硬式野球	6	釣り	5		
		8	卓球	5	スケートボード	5		
		9	釣り	5	陸上	5		
		10	浮き袋	5	バドミントン	4		
			ダンベル	5				
			キックボード	5				
②	自分・資金	1	サッカー	93	サッカー	91	縄跳び	8
		2	バスケットボール	34	軟式野球	26	ソフトテニス	8
		3	硬式テニス	29	硬式野球	26	硬式テニス	6
		4	スキースノーボード	29	釣り	25	スキースノーボード	6
		5	硬式野球	28	硬式テニス	23	バドミントン	4
		6	軟式野球	26	スキースノーボード	23	卓球	4
		7	釣り	25	縄跳び	16		
		8	縄跳び	24	鉄アレー	15		
		9	卓球	17	スケートボード	14		
		10	バドミントン	15	卓球	13		
			鉄アレー	15				
購入希望	順位	用具	頻度	用具	頻度	用具	頻度	
③	希望・常識	1	スキースノーボード	60	サッカー	45	スキースノーボード	20
		2	サッカー	45	スキースノーボード	40	サーフィンボード	10
		3	サーフィンボード	29	サーフィンボード	19	スカイダイビング	8
		4	バスケットボール	20	バスケットボール	18	シュノーケル	6
		5	軟式野球	17	軟式野球	17	キックボード	6
		6	硬式テニス	16	硬式野球	16	弓道	6
		7	硬式野球	16	硬式テニス	12	ハンググライダー	6
		8	スカイダイビング	14	鉄アレー	12	硬式テニス	4
		9	キックボード	13	釣り	10	ゴルフ	4
		10	鉄アレー	12	バドミントン	9	キャンプ	4
			バーベル	9	トレーニング他	4		
			キャンプ	12	ダイビング	4		
					アイススケート	4		
④	希望・多額	1	スキースノーボード	55	サッカー	34	スキースノーボード	24
		2	サーフィンボード	44	サーフィンボード	34	ダイビング	16
		3	サッカー	34	スキースノーボード	31	サーフィンボード	10
		4	ダイビング	24	硬式テニス	13	ゴルフ	8
		5	スカイダイビング	20	軟式野球	12	スカイダイビング	8
		6	硬式テニス	19	スカイダイビング	12	硬式テニス	6
		7	ゴルフ	17	バスケットボール	11	キャンプ	6
		8	キャンプ	15	スケートボード	10	キックボード	6
		9	ウインドサーフィン	15	釣り	9	ウインドサーフィン	6
		10	スケートボード	14	ダンベル	9	釣り	4
			釣り	13	スケートボード	4		
			軟式野球	12	シュノーケル	4		
			バスケットボール	11	水	4		
			水上他	11	水上他	4		
			ウインドサーフィン	9	ウインドサーフィン	4		
				9	フェンシング	4		
				9	ハンググライダー	4		

ると、男性では「サッカー」、「スキー・スノーボード」、「サーフィンボード」であり、女性は「スキー・スノーボード」、「サーフィンボード」、「スカイダイビング」が多くを占めている。

- ④ 十分な資金があれば購入を希望するスポーツ用具・遊具を全体的にみると、（表5-④）「スキー・スノーボード」、「サーフィンボード」、「サッカー」を多く挙げている。性別でみると、男性では「サッカー」、「サーフィンボード」、「スキー・スノーボード」であり、女性は「スキー・スノーボード」、「スカイダイビング」、「サーフィンボード」が多くを占めている。

そこで、「購入したもの」と「購入希望」のそれぞれの4項目を総合的にみると、男性は「サッカー」を主に同傾向を示しているが、女性の方は異傾向という特徴がみられる。購入希望については、SSF 笹川スポーツ財団の「今後行なってみたい運動・スポーツ種目」<sup>(7),(8)</sup>の調査結果と同じ傾向を示している。男女共通性のあるものとして、「スノーボード」、「サーフィンボード」、「スカイダイビング」などのアウトドアスポーツ用具・遊具の関心度が高い傾向を示している。性別でみると、男性は現実的なスポーツ用具・遊具を希望しているのに対して、女性の方は高価な用具・遊具を望んでいることがわかる。

なお、スポーツ用具・遊具の購入項目についての男女差の検定では、（表1-⑤）全ての項目において有意差が認められたが、最近購入した用具・遊具についての有意な差は、他の項目よりもやや低いことがわかる。

#### (6) 仲間と楽しめるスポーツ用具・遊具について（表1-⑥）

仲間や友人などと楽しむ場合に、どのスポーツ用具・遊具を選択するかの調査結果をみると、（表6-①）全体的には「サッカー」、「スキー・スノーボード」、「バドミントン」、「バスケットボール」が多く挙げられている。性別でみると、男性では「サッカー」、「スキー・スノーボード」、「バスケットボール」であり、女性は「スキー・スノーボード」、「バドミントン」、「キャンプ」が多くを占めている。

そこで、総合的にみると、自然と親しむスポーツ用具・遊具で仲間と楽しみたいと願っていることは男女とも共通していることが示唆される。性差をみると、女性よりも男性の方が仲間と楽しみたい傾向が強く現れている。

仲間と楽しめるスポーツ用具・遊具についての男女差の検定では、有意な差は、認められなかった。

#### (7) 大切にしているスポーツ用具・遊具について（表1-⑦）

現在大切にしているスポーツ用具・遊具の上位3をみると、（表6-②）全体では「サッカー」、

表6 楽しみ・大切にしているスポーツ用具・遊具の頻度（上位10）

項目	順位	全 体		男		女	
		用 具	頻度	用 具	頻度	用 具	頻度
① 仲間と楽しむ用具	1	サッカー	103	サッカー	103	スキースノーボード	34
	2	スキースノーボード	76	スキースノーボード	42	バドミントン	28
	3	バドミントン	51	バスケットボール	41	キャ ンプ	24
	4	バスケットボール	51	軟 式 野 球	38	バレーボール	22
	5	硬式テニス	45	硬式野球	29	硬式テニス	18
	6	キャ ンプ	42	硬式テニス	27	サーフィンボード	18
	7	サーフィンボード	35	バドミントン	23	スカイダイビング	12
	8	バレーボール	33	キャ ンプ	18	ダイビング	10
	9	硬式野球	29	サーフィンボード	17	ソフトテニス	6
	10	卓 球	26	卓 球	16	ボーリング	6
				釣 り	16	アイススケート	6
						ウインドサーフィン	6
② 大切な用具	1	サッカー	84	サッカー	82	硬式テニス	18
	2	バスケットボール	36	軟式野球	35	バドミントン	10
	3	軟式野球	35	硬式野球	33	バスケットボール	10
	4	硬式テニス	35	バスケットボール	26	スキースノーボード	10
	5	スキースノーボード	34	スキースノーボード	24	卓 球	6
	6	硬式野球	33	硬式テニス	17	ソフトテニス	6
	7	バドミントン	17	バドミントン	7	ソフトボール	4
	8	卓 球	13	卓 球	7	ゴ ル フ	4
	9	ソフトテニス	11	釣 り	6	剣 道	4
	10	剣 道	7	スケートボード	6	ダ ンス	4
						水 上 他	4

「バスケットボール」、「軟式野球」の順となっている。性別でみると、男性では「サッカー」、「軟式野球」、「硬式野球」の順で、女性は「硬式テニス」、「バドミントン」、「バスケットボール」の順となっている。

大切にしている用具・遊具は、男女とも最近活用しているものを挙げている。しかも「バスケットボール」が男女共通の用具としていることが注目される。

大切にしているスポーツ用具・遊具についての男女差の検定では、有意な差は、認められなかった。

## ま と め

現在所有しているスポーツ用具・遊具のほとんどは自ら楽しむもので、中でも球技系の種類のものが多くを占めている。

所有するスポーツ用具・遊具の面から見ると、集団志向型傾向が強く現れている学生が多いことが窺われる。また、中・高・大学期と進むにつれて、「鉄アレー」、「万歩計」などの健康・体力づくりを意識した用具・遊具の漸増がみられる。その原因として、日頃の体力・運動不足が考えられるが、それに加えて、マスメディアによる健康ブームがその一因とも考えられる。

所有しているスポーツ用具・遊具をみると、男女間で大きな相違がみられる。男性の場合は、

仲間や友人達と一緒に楽しめる球技系の用具・遊具を好んでいるのに対して、女性は個人で楽しめるものを求める傾向がある。さらに、所有数からみても男性よりも女性の方が多くの用具・遊具を所有していることがわかる。このように、男性と女性とで所有用具・遊具に違いが見られるのは、経済的観念の高さやスポーツに対する好奇心の現れ方の強さに違いがあると推測できよう。今後の研究課題の一つとして考えたい。

小学校以前期・小学校期・中学校期・高校期・大学期の5段階に分けて調査した結果、時期により違った傾向が現れている。

男女とも小学校期にスポーツ用具・遊具が活用されており、これは学校体育の好影響の現れであり、また、地域のスポーツクラブへの参加率<sup>8)</sup>が高いことなどが理由として考えられる。また、高校、大学と進学することにより、用具・遊具の活用頻度が減少傾向となっている。特に、大学期には活用頻度が低く、用具・遊具を選定する傾向が強くと現れている。

スポーツ用具・遊具の多種目活用現数の時期をみると、男性では、高校期に多いのに対し、女性は小学校期に多くなっている点で、男女間で大きな差異が見られた。女性は加齢と共にスポーツから遠ざかる一般的な傾向<sup>9)</sup>があり、それがスポーツ用具・遊具の活用現数にも反映されていると思われる。

ここで特筆すべき点は、スポーツ用具・遊具の面から見たスポーツ活動への関与では、男性が優位を占めているということである。用具・遊具の所有現数が優位な女性がいるにもかかわらず、スポーツ用具・遊具の活用状況や購入といった点では、すべて男性が優位となっている。このことから、男性の方が今回の実態調査において、より強く作用していると捉えることができる。さらにスポーツ用具・遊具に関しても、女性より男性の方が積極的にスポーツ活動に関与していることが明らかである。

人気のあるスポーツ用具・遊具の種目上位3は、「サッカー」「硬式テニス」「バスケットボール」である。これらが上位を占めたのは、新聞・テレビなどのマスメディアの影響も大きいが、他の理由としては、次のようなものが挙げられる。それは愛好者の仲間が多いこと、少人数でも楽しめること、服装や用具の格好が良く話題性<sup>10)</sup>があることなどである。

したがって、「サッカー」「硬式テニス」「バスケットボール」のスポーツ環境諸条件が他の種目よりも整備されていることが考えられる。

これからやってみたい将来志向のスポーツ用具・遊具としては「スキー・スノーボード」「スカイダイビング」「スキューバダイビング」「ハンググライダー」「ゴルフ」が見られる。いずれも、自然環境を利用したアウトドアレジャー・スポーツの種目である。このような種目を希望する若者が多いことは注目すべきである。

これからは、陸・海・空の大自然を相手にスリルや冒険を求めるスポーツ用具・遊具や、激しいスポーツのための用具・遊具の動向に期待が持たれるであろう。

今回の調査では、学生を対象として過去のスポーツ歴、特にスポーツ用具・遊具との出会いや体験度からのアプローチを試みた。さらに、小学校以前期・小学校期・中学校期・高校期・大学期の5段階に分けての実態調査を行った。

今後の課題としては、「するスポーツ」を楽しんでいる者と楽しんでいない者との比較を考えたい。このほか両者を取り巻く家庭環境・地域環境、学校体育などとの関連性を総合的に分析する必要がある。

また、これからのレジャー活動で「するスポーツ」を楽しむ場合、スポーツ用具・遊具との関わり方が大切になってくる。今後はスポーツ活動の上で、用具・遊具の活用頻度が一つのポイントになると考える。

特に、所有されているスポーツ用具・遊具の中で活用されていない用具・遊具の再活用化の検討が急務であろう。

したがって、生涯スポーツ・レジャースポーツへ取り組むためにもスポーツ用具・遊具との関わり方が重要なカギを握るであろう。

#### 参考文献

- 1) 遠藤大哉, 宮内孝知, (2000), 「スポーツフィットネス・プログラム」参加層の特徴, 体育社会学専門分科会発表論文集, 日本体育学会第5回大会, 19-24
- 2) 北村尚浩, 川西正志, 池田勝, (1997), スポーツ参加者のスポーツライフスタイルと子コミュニティ感情, 体育学研究 41 (6) : 438-448
- 3) 原田宗彦, 菊池秀夫, (1990), スポーツ参加者のライフスタイルに関する研究, 体育学研究 35 (3) : 241-251
- 4) 海老原修, 江橋慎四郎, (1980), コミュニティ・スポーツの社会的機能について—コミュニティ形成に果たす役割の検討—, レクリエーション研究 8 : 41-50
- 5) 自由時間デザイン協会, (2002), レジャー白書 2002, 42
- 6) SSF 笹川スポーツ財団, (2002), 青少年のスポーツライフ・データ, 27
- 7) SSF 笹川スポーツ財団, (2002), 青少年のスポーツライフ・データ, 44-45
- 8) SSF 笹川スポーツ財団, (1996), スポーツ白書, 54-57
- 9) 自由時間デザイン協会, (2002), レジャー白書 2002, 35
- 10) 自由時間デザイン協会, (2002), レジャー白書 2002, 5
- 11) スポーツ・レクリエーション施設総覧編集委員会, (1986), スポーツ・レクリエーション施設—その企画と運営—, 産業調査会出版部
- 12) 森 亘, (1986), 東京大学公開講座 44 スポーツ, 東京大学出版会
- 13) 岡本包治, (1992), 地域における生涯スポーツの振興, ぎょうせい出版
- 14) 北澤裕, 桜井洋, (1994), ライフスタイルと社会構造, 日本評論社
- 15) 渡邊融, (2001), 現代社会とスポーツ, 放送大学教育振興会
- 16) 中村敏雄, 出原泰明, 等々力賢治, (1991), 現代スポーツ論, 大修館書店
- 17) 矢橋健一, (1984), スキーの用具とスキーの外傷, 体育の科学 : 34 (11) 811-816
- 18) 福山甚九郎, (1984), スポーツ・シューズの科学, 体育の科学 : 34 (11) 817-819
- 19) 室井国昌, (1984), テニスラケットの発展と科学, 体育の科学 : 34 (11) 820-826